

社会資本総合整備計画 モニタリングシート  
布袋地区

平成29年3月

愛知県江南市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	江南市		地区名	布袋地区		面積	150ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施予定時期	平成30年度	モニタリング実施時期	平成29年2月	交付対象事業費	2,571百万円	国費率	0.4		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	事業名 道路(街路):都市計画道路布袋本町通線、布袋駅前広場 道路:市道南部第229号線、市道東部第280号線、市道東部第425号線 高質空間形成施設(カラ-舗装):布袋駅西地区				事業進捗の状況(順調か、遅れているか) 基幹事業全体で順調に進捗している。					
		提案事業	地域創造支援事業:布袋駅西地区まちなみ整備 事業活用調査:事業効果分析調査				提案事業全体で順調に進捗している。					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成(エスカレーター):布袋駅		駅利用者の利便性の向上を目指し基幹事業に追加した。		影響なし					
		提案事業	雨水排水対策施設整備		鉄道高架に伴い利便性が求められる布袋駅東地区の浸水被害解消のため事業を追加した。		影響なし					
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	平成 年度 ~ 年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	モニタリング	目標	総合所見			今後の対応方針		
			基準年度	目標年度	計画年度	達成見込み						
	指標1	まちの賑わい満足度	%	15	H25	21	H30	14	H28	あり ● なし	現在は鉄道高架事業の本体工事及び関連する基盤整備が途中段階であることから、にぎわい創出の実感が感じられず満足度が得られていない。しかし、段階的に事業を進めていき徐々に駅前や市街地が形成されていけば今後、目標値は達成できると予想される。	布袋駅を中心とした各種整備事業の計画年度内での完成を目指して、着実な事業の進捗によりにぎわい創出を図る。
	指標2	防災エリア率	%	78	H25	82	H30	80	H28	あり ● なし	病院跡地での住宅地開発に伴う基盤整備等により、防災エリア率の着実な向上が図られており、目標値が達成できると予想される。	布袋駅前広場、市道東部第280号線、市道東部第425号線等の整備の着実な進捗により、防災エリア率の向上を図る。
	指標3	建築促進数	件	261	H24	423	H30	418	H28	あり ● なし	前都市再生整備計画などによる基盤整備効果の発現や大規模な住宅地開発、また都市計画法第34条第11項による開発行為等の許可基準の緩和等によって、建築確認申請数が飛躍的に増加し、目標値が達成できると予想される。	鉄道高架事業完了を見据えたまちづくりを実施していくことにより、安心安全な生活環境の確保を図る。
指標4	道路整備の満足度	%	44	H25	51	H30	27	H28	あり ● なし	各種道路整備事業により地区内の道路環境の改善を図っているが、整備途中の段階の道路が地区内に存在することから満足度が得られていない。今後、都市計画道路と市道の接続によりネットワーク化され安全性や利便性を確保していくことにより目標値は達成できると予想される。	鉄道高架事業に伴う踏切除却による地域の分断の解消、および各事業を計画的に実施することにより、道路の連続性を確保し道路整備の効果発現を図る。	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	モニタリング	目標	総合所見			今後の対応方針		
			基準年度	目標年度	計画年度	達成見込み						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況	地元まちづくり組織や地元有志による「まちづくりイベント」が継続して実施されており、活動の認知度が向上し参加者が増加している。活動を通して様々な団体の連携が図られるようになり、地域活動の促進に繋がっている。											
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	モニタリング及び事後評価においては、まちづくり活動実施団体等による評価を実施する。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● ● ● ● ● ●		
	住民参加プロセス	地域住民で構成されるまちづくり活動団体等と定期的な会合を行うことにより、事業に反映する取り組みを実施してきており、今後もそれらを継続する。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				● ● ●		
	持続的なまちづくり体制の構築	整備される公共施設(道路、公園、駅前広場等)の維持管理についての協働体制(アダプト制度など)が確立できるよう、継続的かつ発展的なまちづくり活動を支援する。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				● ● ●		
6) モニタリングの所見	総合所見	順調 要改善	布袋駅西地区だけでなく、布袋駅東地区についても一体的に整備し、計画的に事業進捗を図る。				今後の事業の改善点	鉄道高架の進捗にあわせて、今まで布袋駅西地区を中心に事業を進めてきたが、布袋駅東地区においても基盤整備を行うことで道路のネットワーク化の改善などにより東西の分断を解消し、駅周辺の賑わい創出に向けて事業進捗を図る。				